

公益社団法人小田原青色申告会
第8期事業計画書

(令和2年度)

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

I 基本方針

我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、内需を中心とした緩やかな景気回復が見込まれており、政府は、引き続き「経済再生無くして財政健全化なし」を基本方針とし、デフレ脱却に取り組み「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」の着実な実施を図るとともに全世代型社会保障制度の構築に向けた取組みを進める中で、経済の好循環を維持・進展することで、国内総生産の実質成長率は1.4%程度、名目成長率は2.1%程度と見込んでいます。

しかしながら、経営基盤の脆弱な個人の小規模零細事業者においては、昨年10月に実施された消費税率の引き上げや働き方改革等による消費の減少や人件費の高騰・労働力不足、加えて後継者難・経営者の高齢化、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、経営環境の厳しさが増えています。

このような状況の中、当会の安定経営を維持するための最重要課題である財政の健全化については、2年の歳月を費やし「財政健全化検討会」において、収益増加策をはじめ、事業仕分けによる事業見直しや支出全般を総合的見地から見直した報告書が策定されましたので、そこで指摘された課題の解決に向けて、優先順位を付けスピード感を持ち、業務執行理事で検討をした上で、理事会で協議を重ね、財政健全化に向けた具体的な取り組みを実施いたします。

また、昨年10月1日から消費税率が改定され、同時に軽減税率が導入されたことを受け、税務当局をはじめ税務関係団体と連携を図りつつ、記帳説明会等で区分経理等の定着を図るとともに、今後改正が予定されている消費税のインボイス制度等の情報提供につきましても推進していきます。

加えて、今後のITの普及やAI（電子頭脳）の導入によりもたらされる記帳や決算申告等の著しい変化に、迅速かつ的確に対応するための方策を検討し必要な措置を講じます。

さらに、次年度は役員の高齢化に当たっておりますが、近年役員の高齢化が顕著になり、その対応策が喫緊の重要課題となっていることから、理事の定

数の検討や本部推薦理事の選考組織を早期に立ち上げるなど、組織運営の安定化に向けた取り組みを進めていきます。

なお、多くの困難な課題に直面している中「公益社団法人」として第8期目を迎えた当会は、これまで、会員・役員はもとより税務当局をはじめ地方公共団体・関係団体等の理解と協力により、全国でトップクラスの青色申告会として発展を遂げてきました。本年度に「会創立70周年」の記念の年を迎えることから、これを契機に、感謝の意を表わすとともに、今後の飛躍に繋がる記念事業を企画実施いたします。

当会は今後も、自主・自立を旨とする運営を目指し、さらなる公益の増進に寄与するために、関係法令は基より定款・諸規程等を遵守した上で、会の目的に即した事業を積極的に展開します。そして、従来に増して適正で公平な申告納税制度の推進と納税道義の高揚に努め、公益目的事業等の充実を図り、以って国政の健全な運営並びに地域社会の発展に貢献いたします。

主要事業につきましては、次のとおりです。

II 事業計画

1 租税関連事業（公益1事業）

(1) 記帳支援

新規開業者をはじめとする個人自営業者等が、早期に記帳等が習得できるよう、税務署や関係団体と連携を図り、記帳支援を行なうとともに、積極的に青色申告制度の普及推進を図ります。

さらに、新規入会者向けの記帳指導会を開催し、早期に会員の記帳水準の向上を図るとともに、会の利用促進に努め退会防止にも繋がります。

なお、記帳処理に関しては、受益者負担の観点から利用料の検討を行なうとともに、IT化等による事業の効率化について検討を図ります。

◆ 青色記帳個別指導	(4月～11月開催)	目標人数	70名)
◆ 新規開業者記帳指導	(6月・11月開催)	目標人数	200名)
◆ 新規入会者記帳指導	(4月～12月開催)	目標人数	20名)
◆ 記帳処理指導	(4月～3月開催)	目標利用者数	2,250名)
		目標延べ人数	29,250名)
◆ 源泉納付指導	(7月開催)	目標人数	130名)
◆ 国税局受託記帳指導	(7月～12月開催)	目標人数	120名)
◆ 消費税記帳指導	(7月～12月開催)	目標人数	70名)
◆ 年末調整個別指導	(1月開催)	目標人数	200名)
		延べ目標人数	30,060名

(2) 決算・申告指導

記帳から決算・申告までの一連の指導事業は、我が国の申告納税制度の根幹ともいえる、極めて重要な使命を持った公益目的事業であることから、税務当局と連携協調を図るとともに、税理士会にご協力をいただく中で、適正な「自主申告」の維持普及のため、関係法令を遵守した上で事業を展開します。

また、確定申告指導会場の運営については、会員の会費をはじめ事業収入等を財源にしていることから、会員以外の利用者に費用の一部負担をいただくなどを検討します。

◆ 決算準備指導	(12月開催)	目標人数	250名)
◆ 決算確認指導	(1月開催)	目標人数	350名)
◆ 国税局受託記帳指導			
決算・申告説明	(1月開催)	目標人数	30名)
◆ 税務署内青色コーナー	(2月～3月開催)	目標人数	1,150名)
◆ 所得税・消費税申告指導			
① 青色会館1階	(2月～3月開催)	目標人数	3,800名)

② 青色会館 3階	(2月～3月開催)	目標人数	7,000名)
③ 消費税申告指導	(2月～3月開催)	目標人数	650名)
		延べ目標人数	12,680名

(3) 税のセミナー等

令和元年10月から消費税率が引上げられ、同時に軽減税率が導入され、税率を区分した帳簿や請求書等の作成が必要になったことから、税務署と連携した上で、従来から消費税免税事業者が多い小規模の個人事業者に対し、記帳等の留意点を周知するとともに、今後予定されている適格請求書等保存方式（インボイス制度）等の導入に向けたスケジュールや留意事項の周知に努めます。

さらに、所得税等の税制改正の動向に注視した上で、納税者の視点に立ち工夫を凝らしたセミナーを開催するなど、税の情報提供に努めます。

なお、開催に当たりましては、支部合同開催により効率化に努めます。

- ◆ 身近な税金説明会 (10月開催 目標人数 250名)
- ◆ 複式簿記講座決算準備指導 (4月・9月開催 目標人数 40名)
- ◆ 住宅取得と税金還付セミナー (1月開催 目標人数 30名)

(4) 創業セミナー等

近く開業を検討或いは将来に創業の計画を持つ開業予定者に、開業にあたって必要不可欠とされる「事業計画の作成」「融資の受け方」等の基礎知識を、それぞれの分野の専門家が指導・助言します。

- ◆ 創業セミナー (4月・7月・10月 目標人数 30名)

(5) 青色申告・小学生の税の書道展 (第39回)

小学生児童を対象に、書道を通じ税への関心と重要性を学ぶための啓発事業として定着している「税の書道展」は、当会の代表的な公益目的事業として、多くの出品作品が寄せられ地域に浸透し回数を重ねています。

今後の事業継続につきましては、本事業の主要な財源となっている事業所からの協賛広告料が減少傾向にあることから、機関紙の特集号を管内全校の全児童に配布し協賛事業所の周知を図ることで、協賛金の財源の確保に努めます。

- ◆ 審査会 (9月中旬 管内全児童の73%出品見込み 約12,000点)
- ◆ 入賞作品展示 (11月28日・29日小田原市民会館。特選・金賞・銀賞・銅賞の約1,250点を展示)
- ◆ 表彰式 (11月29日 小田原市民会館大ホール 来場見込み1,000名)

(6) 高校生の税の感想文コンクール

署管内の全14校の高等学校の生徒に対し、税務署が租税教室を開催し、受講者に税に関する感想文を広く募集することで、税の役割や重要性の周知に努め納税道義の高揚を図ります。

開催予定（5月～11月に各高等学校で開催）

◆ 租税教室	受講者見込み	2,400名
◆ 感想文	出品目標点数	1,800点
◆ 入賞者数		240名

(7) 機関紙の発行等

機関紙の発行は、税関係情報はもとより、本会の公益目的事業等を広く会員並びに地域住民に周知する上で、極めて重要な役割を担っていることから会員の中核をなす個人事業の経営支援記事をはじめ、会事業及び支部事業の報告記事等について、常に読者目線の記事が掲載できるよう努めます。

なお、機関紙の発行及び配付にあたりましては、紙面製作費及び郵送料の削減が課題となっているため、発行回数の削減や会員の種別（正会員・準会員）による配布回数の差別化等を検討した上で効果的・効率的な広報を目指します。

また、同時進行として、ホームページ及び若年者層に利用率の高いスマートフォン対応のWEBサイトの充実を図り、新たな会員の獲得にも繋がります。

広報紙の発行予定

- ◆ 会員（正・準会員） / 毎月15,000部発行
- ◆ 新聞折り込み / 毎月70,000部発行

街頭広報活動予定

- ◆ 支部 / 税の標語入りボールペン配布 8,000本（9支部で実施）
- ◆ 本部 / 税の標語入りボールペン配布 1,500本（11月11日/小田原駅頭）

2 地域貢献事業（公益2事業）

(1) 地域貢献セミナー

会員及び地域住民に対し、支部と連携を図り「各種セミナー」を、企画開催することで、「経営支援」「生活支援」に努めます。

- ◆ 経営・生活支援セミナー（10月開催 目標人数 50名）

(2) 講演会

秋の講演会は、毎年お堀端コンベンションホールにおいて著名な講師を招聘し開催し、400名以上の受講者により大盛況を博しています。

しかしながら、地域貢献は一定の意義と効果はあるものの、会員へのサービスとのバランスを考慮して、費用対効果等を検証した上で、周年事業化を含め検討するなど、事業の改善を図ります。

(3) スポーツ振興等助成事業

当会が地域貢献事業の一環として実施している本事業は、スポーツ振興団体及び商業振興団体に助成を行なうことで、地域の活性化を図ることを目的としており、10年を経過し地域に定着しています。

しかしながら、助成団体が固定化傾向にあり、助成の既得権化が課題となっているため、今後、継続及び廃止も含め再検討します。

(4) 事業所紹介サイト「どこどこ」

本事業は、小規模会員事業所等の存在はもとより、商品やサービスをインターネットを活用して不特定多数の人々に広くアピールすることを目的としています。今後も、このサービスを活かし事業者と消費者との接点を広げることで会員をはじめとする個人事業者の経営支援に努め、地域の活性化に貢献します。

3 共済事業（収益1事業）

(1) 共済制度の普及

小規模事業者の事業引退後の生活安定を支援するため、退職金の積立を図りながら節税にも繋がる「小規模企業共済制度」及び「中小企業退職金共済制度」の普及促進を図ります。

また、「青色ファミリー共済制度」等は、当会が創設した独自のものであることから、制度の役割や特長を積極的に会員に周知するとともに、その普及に努めます。

普及目標件数

◆ 小規模企業共済	600件
◆ 中小企業退職金共済	20件
◆ F A 1	110件
◆ F A 2	300件
◆ 自動車共済	100件
◆ アフラックがん保険	100件

(2) 保険見直し相談会

生命保険制度は、加入者の年齢や家族構成等により、必要とされる保障内容が変化するため、ファイナンシャルプランナーにより随時、個別相談を行ない、将来の安心と無駄のない加入に向け適切なアドバイスに努めます。

(3) 生活習慣病検診事業

個人事業者の定期的な健康診断の機会は、必ずしも十分とは言えない状況にあることから、多数の検査項目を短時間でしかも廉価な会員価格で受診していただける、生活習慣病検診（年2回春・秋）を継続実施します。

受診目標

- ◆ 春の検診（4月実施 受診目標人数 130名）
- ◆ 秋の検診（11月実施 受診目標人数 170名）

4 会館賃貸・貸室事業（収益2事業）

「納税者センター青色会館」の2階賃貸スペースは、全区画が入居完了しており、加えて、5階スペースには法務省の横浜保護観察所の出先機関が、令和4年の3月末まで入居することとなっています。

今後も、会館の有効活用を行ない安定的な収益の確保を図るため、令和4年度以降の5階の入居者確保に向けた取組みを行ないます。

また、青色会館は建設後半世紀を経過しており、今後も長期利用に耐えうる保全対策が必要不可欠となっていることから、過去に策定した建物修繕長期計画等を参考に、会館の設備の保全を中心に、設備等の検査及び修繕を的確に実施します。

5 会員厚生事業（その他1事業）

(1) 各種無料相談会

会員の幅広い個別相談のニーズにお応えするために、専門家による各種個別相談会を定期開催し、会員の事業経営の安定と生活支援に努めます。

専門家による個別相談開催

- ◆ 無料法律相談（弁護士/毎月2回開催 目標人数 30件）
- ◆ 無料相続相談（弁護士/毎月1回開催 目標人数 20件）

◆ 無料年金相談（社会保険労務士/毎月1回開催	目標人数	10件)
◆ 無料不動産相談(不動産コンサルタント/毎月1回開催	目標人数	10件)
◆ 無料税務相談（税理士/4月～12月 月1回開催	目標人数	35件)
◆ 無料融資相談（日本政策金融公/随時開催	目標人数	5件)
◆ 無料経営相談（経営コンサルタント/随時開催	目標人数	10件)

(2) 支部

支部運営につきましては、平成29年度に設置された「支部活動活性化実施検討会」の答申書により、支部の活性化に向けての施策等が明文化されました。さらに、財政健全化検討会の報告書において、役員の高齢化対策及び支部運営の効率化策が優先課題とされたことから、今後は、支部連絡会等で支部間の情報共有を図りながら、課題の解決に向けて取り組めます。

- ◆ 役員の高齢化対策（支部役員数・役員の定年制・役員候補者選定）
- ◆ 支部運営の効率化策（セミナー等の合同開催・支部統合の検討等）
- ◆ 支部の機能及び支部役員の職務（支部内の未入会者の情報提供等）
- ◆ 支部のあるべき姿（支部事業区分と事業の優先順位のルール化）
- ◆ 支部運営費用の使途のルール化
- ◆ 支部活動検討会答申における実施事業（入会御礼状への支部活動資料の同封・支部間相互の連絡会開催等）

(3) 青年部会

青年部会は、現在「スキルアップ事業」「文化交流事業」「スポーツ交流事業」「地域貢献事業」の4事業を実施し、自己事業の発展はもとより、人脈作りや社会貢献に努め、地域を支える次代の経営者の養成を行なっています。

この様な経営者の資質を高める事業を通し、若い経営者を支援することは地域にとっても当会の将来にとっても、極めて重要な活動です。

今後も部会メンバーが主体となり、経営能力の向上に繋がる事業を核とし部会運営を行うとともに、本部をはじめ支部との連携協調を図るなかにより積極的な部会運営に努めます。

(4) エンジョイサービス

記帳処理利用者の親睦交流の場として、僅かな費用で気軽にご参加いただける日帰りバス旅行を、秋に企画実施します。

(5) 会員研修旅行等

本年度の第58回会員研修旅行は、新幹線で行く「奥州藤原氏の栄華を感じ

る旅」と題し、世界遺産の「中尊寺や毛越寺」の散策とともに、震災から9年が経過し復興の軌跡を辿る中で、街を守る「三陸鉄道の貸切乗車」等を盛り込み、5月上旬から700名の参加者を目標に3日間の行程で実施します。

なお、財政健全化検討会の報告書において、会員以外の参加者も多く含まれている等の課題が指摘されているため、運営方法を含め協議を重ねるとともに、旅行社が独自に企画する旅行につきましては、参加者数に合わせた事務手数料の導入について検討します。

6 組織運営等

(1) 会運営

当面の当会の最重要課題は財政の健全化であり、昨年12月に「財政健全化検討会」において策定された報告書では、財政の健全化に向けての、収益増加策を始め事業の見直しによる経費の節減に加え、検討結果を踏まえた3年後の令和4年度の財政推計・理事等役員の高齢化対策・青色申告会グループの在り方等の課題が纏められました。

今後は、この報告書に基づき、業務執行理事で協議を行なった上で、理事会において検討を重ね、早急に財政健全化等に向けた取組みを始動します。

加えて、今後のIT化やキャッシュレス化の普及、さらにAI(電子頭脳)の導入等により、記帳や決算申告指導などの基幹事業のあり方が、激変することが予想されることから、将来を見据えて会のサービス提供のあり方を専門家の意見を参考にしつつ調査研究します。

(2) 会勢拡大運動の推進

本年度におきましても会勢拡大チーム(職員5名体制)を設置し、次の各種会員増強施策等を実施することで、組織の拡充強化に努めます。

①入会勧奨策(入会目標 600名)

- ◆税務署主催の記帳説明会・決算指導会における税務署との連携強化
- ◆税務署内青色コーナーの効果的運営強化
- ◆新規開業者情報の収集(保健所・食品衛生協会等)
- ◆日本政策金融公庫の融資対象に対する記帳指導会の開催
- ◆団体・役員・会員等への紹介運動(税理士会・支部・青年部会等)

②退会防止策(退会見込み 580名)

- ◆新規入会者向けセミナー開催
- ◆遠隔地の支部への出張記帳指導開催
- ◆退会相談窓口の設置(会未利用・廃業・法人成り等)
- ◆事業承継の情報提供(日本政策金融公庫・商工会議所等との連携)

(3) 役員研修会の充実

会の業務執行の決定に参画する「理事」、理事の業務執行状況を監査する「監事」は、組織発展の原動力であることから、昨年に引き続き、先進的あるいは特色ある運営をしている青色申告会等を参考として当会の運営に活かすため、役員研修会を企画実施します。

(4) 理事の構成年齢検討

当会においては、役員の高齢化が顕著となり、現職の本部役員の平均年齢が74歳を超えていることから、役員等の世代交代を考える時期が迫っています。

また、支部活動活性化実施検討会の答申書（平成29年度）において、会の安定的かつ効率的運営に向け、支部役員と同様に「理事会を運営する上で適切な役員数の検討を要する」との答申がされていることから、今後、これらの課題について、現状分析等を行なった上で、慎重に検討を重ねます。

(5) 会創立70周年事業の企画実施

当会は、戦後間もない1950年(昭和25年)に会員47名で創立し、本年12月18日に会創立70周年の記念日を迎えようとしています。

この間、役員はもとより税務当局をはじめ関係団体や地域住民の皆様の支えにより、全国の青色申告会のなかでもトップクラスの会員数を誇る公益法人として積極的に活動を展開して来ました。

記念すべき、会創立70周年を迎えるに当たり、関係する皆様に感謝の意を表すとともに、100周年に向けた通過点として、未来へ繋がるイベント等を企画実施します。

その他、本会定款3条の目的を達成するため、通年開催している諸事業についても継続実施いたします。

以上